



皆様からの募金とボランティア作業で、活動しています NPO 法人足尾歴史館トロッコ部ですが、今年もいろいろとイベント&作業が数多くありますので、多くの方々のご協力を、よろしくお願い申し上げます。

1. 腕木式信号機の動態保存



▲木造信号機小屋(手前)と、二段式腕木信号機(右奥)

2015(平成 27)年 10 月に、福島県の鉄道会社より、トロッコ部足尾駅担当の北川氏の活躍によって寄贈頂きました二段式の腕木信号機ですが、長らくトロッコ部の町田チーフを中心として復元修理をしてまいりましたが、このたびあと少しで大公開までこぎつける程となりました。

譲渡直後の二段式の腕木信号機の状態は、長年の使用による内外共に腐食が激しかったため、全分解にて防腐処理から再塗装、各部品の整備などの作業が約 1 年間ほど続いた後、足尾歴史館野外展示場の通洞大橋(銅山観光上にある赤い橋)方向の隅に設置されました。ここから、ワイヤーにて腕木信号機を可動させるのですが、その遠隔操作のために、同じく寄贈してもらった“信号機テコ” 2 器を設置するため、足尾歴史館側出入口横に、木造で懐かしい感じのする信号機小屋が建ちました。

現在、わが国で可動することが可能な二段式の腕木信号機は、足尾歴史館が唯一となっております。これでまた、産業文化財とも言うべき貴重な鉄道遺産がひとつ足尾の地によみがえり動態保存として加わりました。



▲通洞大橋に向かって立っている二段式腕木信号機

この復活した二段式の腕木信号機ですが、先ほど述べた県道 142 号線の通洞大橋からよく見える位置に設置されております。腕木信号機の電灯も点灯するように整備しましたので、今後はなんらかの機会に光を灯したいと考えております。

2. 足尾駅のイルミネーション

毎年恒例となっておりますわたらせ溪谷鐵道各駅イルミネーションが、昨年の 12 月 4 日(日曜日)から今年の 2 月 28 日(火曜日)までの期間に開催されました。わが足尾歴史館トロッコ部は、足尾駅担当にてイルミネーション装飾作業をいたしました。

今年の 12 月からもイルミネーション事業が始まりますが、故障し点灯しなくなった LED イルミネーションが増えてまいりましたので、根本的な交換が必要となり、作業も含めた皆様方のご支援・協力を頂きたく思います。



▲今年も見事なイルミネーション車となったキハ 35-70

3. 手づくり郷土賞を受賞

国土交通省による平成 28 年度「手づくり郷土(ふるさと)賞」の一般部門を日本の近代化を支えた足尾の産業遺産等を活用した地域おこしとして、NPO 法人足尾歴史館が受賞しました。

受賞理由は、足尾に関する資料館を運営している他、ガソリンカーを復元し、野外展示場にて足尾ガソリン軌道・歴史館線として毎月第一土・日に体験運転をしていること。また、地元を走るわたらせ溪谷鐵道